

白老港にクルーズ船が2隻寄港！しました

白老町 産業経済課水産港湾室

6月2日(木)の早朝、白老港に、大型客船「ぱしふいっくびいなす」が5年ぶり2回目となる寄港、そして6月12日(日)の正午に「にっぽん丸」が初寄港しました。新型コロナウイルス対策の徹底の中ではありましたが、両日とも天候に恵まれ、寄港における記念品贈呈や、白老町や苫小牧市の観光PRマップを配布し、お出迎えいたしました。



ぱしふいっくびいなす接岸(6月2日)



観光ブースおもてなし 1



にっぽん丸接岸



記念品贈呈(にっぽん丸)

また、岸壁上に観光案内ブースを出展し、本町の特産品やアイヌ伝統工芸品、北海道の人気土産品などの販売のほか、観光やふるさと納税のPRを行い乗客・乗員をおもてなし致しました。

出港時には、航海の安全を祈るアイヌ伝統儀式やムックリ演奏、古式舞踏などを披露し、来場いただいた一般の方も含め船出を見送りました。

2020年に開業したアイヌ文化復興拠点「民族共生象徴空間ウポポイ」と合わせて、更にアイヌ文化を知り、白老に再訪したいと思ってもらえるようアピールし、引き続き白老港へのクルーズ船誘致活動に注力していきます。



ぱしふいっくびいなす出港の見送り



観光ブースおもてなし 2



にっぽん丸 出港セレモニー(6月12日)